

# おおつ民児協連だより

第14号 2019年1月  
 発行者:大津市民児協連  
 会長 津田 洋子

## 平成30年度・第87回全国民生委員児童委員大会に参加して

第87回全国民生委員児童委員大会は9月27日、28日の日程で沖縄県宜野湾市・那覇市を会場に開催され、本県からは31名（内大津市6名）が参加しました。

大会初日は宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで行われ、約1200名の沖縄県民児協連の皆さんの熱烈な歓迎を受けました。琉球芸能団「うりずん」のオープニングは舞踊と古典音楽が融合し参加者を魅了しました。

式典は沖縄県民児協連会長蔵當（くらとう）博文氏の開会挨拶に始まり、全国民児協連会長得能（とくのう）金市氏の式辞、主催者挨拶と続き全国民児協連会長表彰で式典の前半を終了しました。休憩をはさみ、「世界制覇への道～頂点へのこだわり～」と題して、沖縄劉衛流空手古武道龍鳳会会長の佐久本嗣男氏の特別講演がありました。

佐久本氏は大学卒業後沖縄に戻り、一子相伝の劉衛流宗家に何度も弟子入りを願い出て、やっと許され鍛錬に励んだそうです。しかし、出場する世界大会ではなかなか優勝することができず、36歳で初めて優勝し以降7連覇を果たします。指導者となってからは優れた選手を多く輩出し、その一人である喜友名諒選手が「形」の迫力ある演武を披露してくれました。彼は2020年東京オリンピックの優勝候補だそうです。ところで、佐久本氏の頂点へのこだわりは幼いころの気丈な母の影響によるところが大きいと話されました。そして、高い目標に向かっていくことで何を学ぶことができるのか、生涯挑戦であると結ばれました。

その後、大会宣言の採択があり、「地域共生社会づくり」「子育てを応援する地域づくり」「災害に備えた地域づくり」「人権を尊重した地域づくり」「民生委員・児童委員制度の一層の充実・発展」の5項目が全会一致で採択されました。

最後に、思いがけない連絡が大会本部よりありました。翌日の活動交流集会は台風接近で中止、というのです。一同唖然としましたが翌日ホテル同宿の大阪府・長崎県の皆さんと交流会が持たれたことが救いでした。

次年度の福島大会は良い天気であることを願っています。（富士見民児協会長 伊東 豊）



## 新年のご挨拶

大津市民生委員児童委員協議会連合会会長 津田洋子

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。去る12月理事会におきまして選任され、昨年に続いて会長を務めさせていただくこととなりました。微力ではございますが、皆さまのご支援のもと、重責を努めさせていただきたく、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、私たち民生委員児童委員は、平成29年度に作成した「見守り活動共有化指針」をもとに関係機関と地域での見守り活動を共有化していきます。また今後は、平常時からの見守り活動だけでなく、自治会、社協、自主防災会などとともに、災害時・緊急時に協力しあう支援ネットワークのキーマンとして、民生委員活動を推進していきたいと思っております。

本年は民生委員児童委員の改選期です。地域の方からの“ありがとう”“おかげさまで”の声私たちがやりがいであることを伝え、「大津市は欠員なし」が継続するよう願っております。

介護ロボットなどAIが進化をつづけている現在、AIでは成し得ない、人と人とのつながり、“FACE TO FACE”の関係を住民の方とともに築いていくこと、今後も日本独自の民生委員児童委員という役職を次世代にも継承して行くことを祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



## 民生委員児童委員の一斉改選に向けて！

～引き続き皆様のお力をお貸しください～

- ◆2016年（平成28年）12月1日に就任しました現在の民生委員児童委員の任期は、本年（2019年）11月30日で終了します。委員の皆様今後の処し方を含めて、委員の誰もが自分のこととして考え行動することが求められる時期になりました。
- ◆各地域でご活躍いただいている現委員の皆様には、それぞれの地域やご家族のご事情、ご自身の年齢やご体調など、様々な困難な事柄をお抱えのことと思いますが、大津市民児協連では、基本的には皆様にご留任いただき蓄積された皆様のキャリアを活かして、これからも地域のためにご活躍くださることを希望しております。
- ◆地区民児協のなかでお話し合いやご相談を重ねていただきますように、そして学区社協や自治連合会からも、ご意向の打診や要請があることと思いますが、心がかよい合い住みよい地域社会を広げるために、これからも皆様のお力をお貸しください。

## 個人情報取扱いにご注意ください！

委員の皆様におかれましては、情報の取り扱いや管理に留意されますように、また台帳を持ち歩いたりコピーされることは絶対に避けられますよう、ご注意ください。

★編集後記★ ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年はどうな出来事が待っているのでしょうか？ 願わくは、明るい話題の多い一年になってもらいたいものです。また、今年は一斉改選の年に当たります。民生委員児童委員の活動を続けていると、「どうしたらいいのだろう」と悩むことも（頭を抱えることも）あります。民児協内で力をあわせるのはもちろんのこと、地域の諸団体と協働して『わがまちならでは』の活動をこれからも展開していきましょう。（大石地区 坂口）

# 福祉の分野を超えた “新たな取り組み” 大津市社会福祉協議会 施設連絡会



これからの社会福祉は、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域福祉を支える多様な主体が「我が事」として福祉課題をとらえ、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指しています。

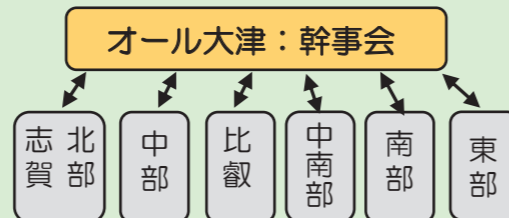
大津市社協施設連絡会は、平成29年4月18日に設立し、地域の社会福祉施設が、日常の業務（高齢分野・障害分野・保育・児童分野など）を超えて集い、地域の課題を共有する中で、福祉施設同士の“横のつながり”を活かした取り組みを推進しています。



施設見学の様子

## ■大津市社会福祉協議会施設連絡会の概要

施設連絡会の事務局を大津市社協が担い、ブロックを単位に情報交換や地域での新たな取り組みをすすめると共に、幹事会では各ブロック事業の共有や課題などオール大津での連携を図っています。



事務局：大津市社協  
(市社協ブロック担当職員が窓口)  
(図：施設連絡会連携のイメージ)

◎加入状況 128施設 (H30.12末現在)  
(分野別)

- 高齢者 42施設
- 障害者 44施設
- 保育 33施設
- 児童 5施設
- その他 4施設

## ■各ブロック連絡会での取り組み状況

( ) 内はブロック内の加入施設数  
(H30.12末現在)

志賀・北部ブロック連絡会 (志賀10北部13)	比叡ブロック連絡会 (28)
◎福祉のイメージアッププロジェクト 将来の福祉人材の育成を目指し、地域にある会員施設の情報と、学校に提供できる『施設の福祉学習・体験』を掲載した冊子づくりをすすめています。	◎夜の子どもの居場所「フリースペース」 各施設職員の協力をいただく形で、新たに「フリースペースしんせい」として、10月から居場所づくりをスタートしました。
中部ブロック連絡会 (20)	中南部ブロック連絡会 (21)
◎「お仕事見学会」の開催 支援を必要とする人や社会とのつながりが必要な人を身近な施設で受け入れることを見据えた企画で、まずは職員による見学会を実施しています。	◎施設の資源の共有、社会貢献事業の検討 施設で保有する資源(人・物・場所・災害)の共有と助け合いの関係づくりと子ども110番の取り組み等を検討しています。
南部ブロック連絡会 (11)	東部ブロック連絡会 (25)
◎施設同士の連携強化、社会貢献事業の検討 施設同士の連携をさらに深めていくため、助け合いの関係づくりと鍵預かり事業の検討をしています。	◎夜の子どもの居場所「フリースペース」 同ブロック内で、すでに開催している「フリースペース」の活動報告を受け、新たに他の施設での開催に向けて検討をすすめています。

ブロックでは、施設同士の“横のつながり”を深めていくため、施設見学や交流なども行っています。

## ささえ合いの地域づくり ～生活支援体制整備事業～

2025年には団塊の世代が75歳以上になり、高齢者の人口がピークを迎えます。ひとり暮らしの高齢者、高齢者夫婦世帯が増える中、若者の人口は減少が続きます。財源と担い手の不足により、公的サービスだけでは、生活支援(見守り、外出支援、買い物、調理、掃除など)を必要とする高齢者の暮らしを支えることが難しくなります。

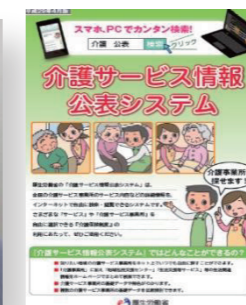
そのため、大津市社会福祉協議会は2016年度(平成28年度)から、大津市の委託を受け「生活支援コーディネーター」を配置し、みなさんが暮らす地域の課題や、その課題をささえる地域の資源について、7つのブロックにわかれて共有する話し合いの場をもち、生活支援の活動と担い手の創出について検討しています。

また、高齢者が趣味やボランティアなどの社会的な活動に参加することが、高齢者自身の生きがいとなり、介護予防にもつながるため、高齢者が活躍できる場づくりを進めています。

高齢者の「生活の困りごと」を把握し、生活支援の取り組みへ活かします。

地域の「ささえ合い」や「高齢者の活躍の場」を把握し発信します。

新たな「地域福祉の担い手」の参画を呼びかけます。



地域の見守り、居場所、ささえ合い活動などのご相談があれば、大津市社会福祉協議会「地域・ボランティア支援グループ」までご連絡ください。

## 見守り活動共有化指針 ～地域で一緒に進めるために～

### <地域普及版> が完成しました!!

大津市民児協連では、民生委員制度100周年記念事業として、平成29年度「見守り活動共有化指針」を作成しました。この指針では、私たち民生委員児童委員を取り巻く社会の変化や大津市の現状を振り返ると共に、見守り活動や個人情報の共有方法に触れ、**民生委員自身がもう一度「見守り」について考えるための冊子**としました。

今年度は、「見守り」を地域で共有し一緒に進めるための「地域普及版」を作成し、**地域全体で見守り活動をするためのきっかけづくり**になればと考えております。地域普及版は各学区社会福祉協議会会長や自治連合会会長にすでに共有しており、各学区で少しずつ広がっています。**地域での共有にぜひご利用ください。**

お問い合わせは：大津市民生委員児童委員協議会事務局(大津市社協内)

電話 077-525-9316 FAX 077-521-0207



(見守り活動共有化指針)